



mandom / Human & Freedom



株主 通信

第97期
中間

2013年4月1日～
2013年9月30日まで



株式会社 マンダム

証券コード: 4917

基本理念 | Our Mission

美と健康を通じ、快適な生活にお役立ちする

Aiming to Provide a Comfortable Lifestyle Supported by Health and Beauty

人は「美」に触れたとき、心に深い感動を覚え、満足感が広がっていきます。その、胸躍る感情と満ち足りた気持ちが心身に好影響を与え、健康へと結び付いていくという思いを、「美と健康を通じ」という言葉に込めました。

生活者の美意識を呼び起こすような価値あるモノをつくり、魅力ある商品・サービスとして、世界で一人でも多くの生活者に送り届けることが「快適な生活にお役立ちする」ことだと認識し、生活者満足最大化を目指します。

経営理念 | Our Values

企業理念の具現化を目指した企業行動を通じて、生活者や社員をはじめとするステークホルダーの満足を、同時にバランス良く満たすことができれば、企業は持続的に成長し、社会から認められて存在できると、わたしたちは信じています。

生活者発・生活者着

Creating Lifestyle Value With Consumers, For Consumers

「美」「健康」「清潔」「楽しさ」をビジネスキーワードに、生活者発の「ニーズ・ウォンツ」を魅力ある商品・サービスとして具現化し、生活者着の「価値」として世界で一人でも多くの生活者にお届けすることに全力を尽くします。

全員参画経営

Active Employee Participation

社名の意味に込められた、人間尊重と自由闊達な風土の中で豊かな創造性が発揮される人間集団を形成し、企業価値向上のために個人と組織の持続的成長を目指します。

社会との共存共栄

Social Responsibility and Sustainability

ステークホルダーとの双方向コミュニケーションに努め、ステークホルダーから要請される経済的責任、社会的責任を真摯に受け止め迅速に対応することで良好な信頼関係の維持、向上を図るとともに、「良き企業市民」として、社会との協調・融和に努め、その発展に貢献いたします。

株主の皆さまへ	02
業績の概況	03
事業推進の概況	05
財務データ	07
株主還元の基本方針	08
株式の状況	08
会社概要	09
株主メモ	10
お知らせ	10

株主の皆さまへ



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、現在第10次中期3か年経営計画(MP-10、以下MP-10と記載)を推進しております。MP-10では、「グループ事業の成長を加速させるための中期3か年経営計画」として位置づけ、収益性の向上や安定的かつ高水準な株主還元の実施に配慮しつつ、「売上規模の拡大」を目指し、戦略テーマとして「コア事業である男性グリーミング事業の安定成長」「女性コスメティック事業の展開強化」「アジアを成長エンジンとした海外事業の継続強化」を掲げ、事業を展開しております。

MP-10の最終年度にあたる第97期(2014年3月期)は、MP-10で掲げた連結目標を上回る計画を掲げ、上記テーマに取り組んでおります。その結果、上半期は、国内外ともに順調に推移したことに加え、海外業績の円安による円換算額のプラス影響も加わり、最高売上・最高利益を達成するとともに、期首に掲げた計画を上回ることであります。

下半期については、翌期以降の成長を見据えて国内外においてさらなるマーケティング強化に努め、2014年3月期の計画の達成を目指すとともに、第11次中期3か年経営計画において好スタートを切るべく取り組んでまいります。

今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

にしむら もとのぶ
代表取締役 社長執行役員 西村 元延

業績の概況

第97期(2014年3月期)第2四半期累計業績の概況

増収増益で、過去最高売上・利益を達成

連結売上高	370億43百万円(前期比 9.4%増)
連結営業利益	53億56百万円(同 13.0%増)
連結経常利益	55億93百万円(同 13.8%増)
連結四半期純利益	33億 2百万円(同 8.3%増)

上半期におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策を背景に全体の景況感は改善しつつあるものの、世界経済に対する不安感は解消されておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社海外グループの事業エリアであるアジア経済は、欧州債務問題等の影響を受け、全般的に減速気味で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは持続的な成長の実現に向け、「コア事業である男性グルーミング事業の安定成長」「女性コスメティック事業の展開強化」「アジアを成長エンジンとした海外事業の継続強化」に取り組みました。

■ 連結売上高について

国内外ともに好調な推移に加え、円安の影響により増収

連結売上高は、前期より31億91百万円増加し、370億43百万円(前期比9.4%増)となり、過去最高売上を更新しました。これは主として、国内外においてコアブランド「ギャツビー」が好調に推移したことに加え、円安により海外連結子会社売上高の円換算額が増加したことによるものです。

地域別売上高概況

日本

4.3%増 232億92百万円

コアブランド「ギャツビー」と女性用夏シーズン品の堅調な推移により、4.3%の増収となりました。

インドネシア

13.7%増 80億39百万円

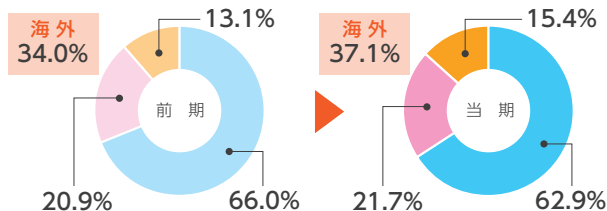
インドネシア国内の堅調な推移と、円安による円換算額の増加により、13.7%の増収となりました。

海外その他

28.5%増 57億12百万円

コアブランド「ギャツビー」が好調に推移したことに加え、円安による円換算額の増加により、28.5%の増収となりました。

■日本 ■インドネシア ■海外その他



第97期(2014年3月期) 通期業績の見通し

今後のさらなる成長に向けた
マーケティング投資を強化しつつ、
売上高・営業利益の2ケタ成長を目指す

連結売上高	665億円	(前期比10.1%増)
連結営業利益	66億50百万円	(同 11.8%増)
連結経常利益	68億60百万円	(同 9.9%増)
連結当期純利益	38億円	(同 5.3%増)

上半期における業績は、日本における男性グルーミング事業および女性用夏シーズン品が好調に推移したことに加え、為替が想定以上に円安となったことが影響し、売上高、各段階利益ともに、当初の業績予想を上回る結果となりました。

下半期においては、当初から計画していた各事業への取り組みに加え、翌期以降の成長を見据えた国内外におけるさらなるマーケティング強化を行ないます。また、為替のプラス影響の継続も予想されます。

これらの状況や取り組みを踏まえ、通期の業績見通しは、当初の計画を変更せず、売上高665億円(前期比10.1%増)、営業利益66億50百万円(前期比11.8%増)、経常利益68億60百万円(前期比9.9%増)、当期純利益38億円(前期比5.3%増)の達成を目指してまいります。

■ 連結利益について

積極的なマーケティング投資を行なったものの、
増収効果により増益

連結営業利益は、前期より6億16百万円増加し、53億56百万円(前期比13.0%増)となりました。これは主として、国内外においてマーケティング費用(販売促進費・広告宣伝費)の積極的な投下があったものの、増収効果によるものです。

上記の結果、連結経常利益は前期より6億76百万円増加し、55億93百万円(前期比13.8%増)となり、連結四半期純利益は前期より2億53百万円増加し、33億2百万円(前期比8.3%増)となりました。

地域別営業利益概況

日本

12.7%増 38億68百万円

マーケティング費用の積極的な投下があったものの、増収効果ならびに原価低減により、12.7%の増益となりました。

インドネシア

23.2%増 6億7百万円

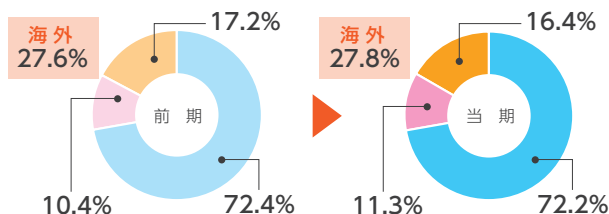
人件費等の一般管理費の増加があったものの、増収効果により23.2%の増益となりました。

海外その他

8.2%増 8億80百万円

販売費及び一般管理費の増加があったものの、増収効果により、8.2%の増益となりました。

■日本 ■インドネシア ■海外その他



事業推進の概況

男性グルーミング事業

コア事業としての安定成長を図り、男性化粧品市場におけるカテゴリーシェアの維持・拡大を目指す

主なブランド：ギャツビー、ルシード

男性グルーミング事業
売上高伸長率

8.3%増



国内

新ヘアスタイリング剤
「ギャツビー ヘアジャム」を発売
ボディペーパーを中心とした夏シーズン品を
展開強化

男性ヘアスタイリング剤市場が年々縮小傾向にあるなか、ヘアスタイリング剤の使用率低下がみられる10代男性のウオントに合った新たなヘアスタイリング剤として「ギャツビーヘアジャム」を発売しました。発売以降、新CMの投下やサンプリング、店頭でのプロモーション展開などにより、認知拡大と市場定着に取り組んでいます。

夏シーズン品においては、4年ぶりにボディペーパーの新CMを投下しました。商品イメージの鮮度アップを図るとともに、新規ユーザーへの使用喚起に取り組みました。



新ヘアスタイリング剤
「ギャツビー ヘアジャム」発売



引き続き松田翔太さんを起用した「ギャツビーヘアジャム」のプロモーションを実施

海外

インドネシア主力アイテム
「ギャツビー ウォーターグロス」を刷新
各国において「ギャツビー」の認知拡大
プロモーションを展開

インドネシアにおいて、男性ヘアスタイリング剤No.1アイテムの「ギャツビー ウォーターグロス」を刷新し、商品の鮮度アップと高まるおしゃれ意識への対応を行ないました。

また展開各国において、「ギャツビー」のCM投下や、プロモーションイベントを実施するなど、ブランドの認知拡大のための取り組みを継続強化しています。



男性ヘアスタイリング剤No.1「ギャツビー ウォーターグロス」を刷新(インドネシア)

女性コスメティック事業

スキンケアを中核に、展開各国市場に適応したラインナップによる展開の強化・育成を目指す
 主なブランド：ビフェスタ、ピクシー

女性コスメティック事業
 売上高伸長率

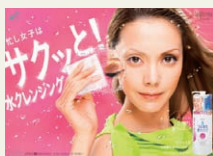
▲ **6.9%増**



国内

「ビフェスタ 水クレンジング」シリーズの新CM投下
 新製品の追加による、ラインナップの拡充

好調な「ビフェスタ 水クレンジング」シリーズに、新CMを投下し、「化粧水で落とすクレンジング」という独自性のある機能を改めて訴求強化しました。新製品も追加し、様々な使用感、使用シーンで使っていただけるようラインナップを拡充しています。



引き続き土屋アンナさんを起用した「ビフェスタ 水クレンジング」シリーズの新CMを投下

海外

「ピクシー」メイクアップラインを刷新
 「ビフェスタ」の各国水平展開を拡大

インドネシアにおいて、「ピクシー」メイクアップラインを刷新しました。高まるおしゃれ意識による生活者ウォンツの変化や、競争環境の激化に対し、商品力の強化やブランドの鮮度アップに取り組みました。

また「ビフェスタ」の各国水平展開を強化し、「水クレンジング」の認知拡大と市場定着に取り組んでいます。



「ピクシー」メイクアップラインを刷新し、新CMを投下(インドネシア)

海外事業

重点エリア(INDONESIA、CHINA)での積極展開により、アジア市場の深耕を図り、グループの成長性向上を目指す

海外事業
 売上高伸長率

▲ **19.4%増**

前期レート
 換算比 **3.6%増**

インド
 ネシア

これまでの優位性を活かしながら、
 市場変化へ柔軟に対応

競争環境の激化や、おしゃれ意識の高まりなどによる生活者ウォンツの変化に対し、主力アイテムの全面リニューアルや新製品の発売など、これまでの認知の高さを活かしながら、ブランドの鮮度アップや新たな価値の提案に取り組んでいます。

中国

好調な男性ヘアスタイリングカテゴリーを中心に、
 展開を拡大

展開エリアおよびチャネルの拡大に取り組むとともに、好調なヘアスプレーを中心とした男性ヘアスタイリングカテゴリーの導入強化に取り組んでいます。

その他の
 エリア

各国に合わせた積極的なプロモーションを展開

インドでは「ギャツビー」プレス発表会を開催し、本格的な広告プロモーションを開始し、認知拡大に取り組んでいます。

インドチャイナでは、引き続きタイを中心とした周辺国での流通網の拡大・整備を行なうとともに、各国に合わせたCM投下等による「ギャツビー」の認知拡大に取り組んでいます。

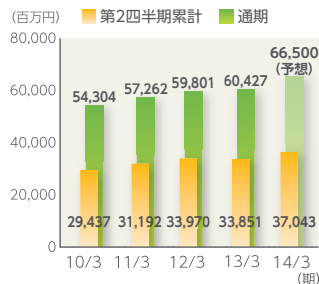


「ギャツビー」プレス発表会を開催(インド)

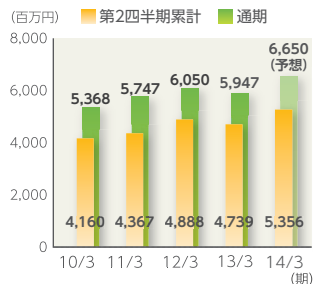
財務データ

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

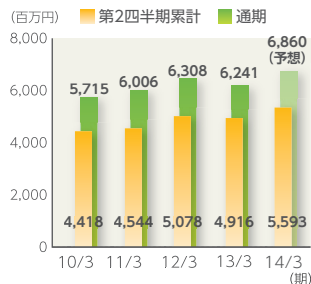
売上高



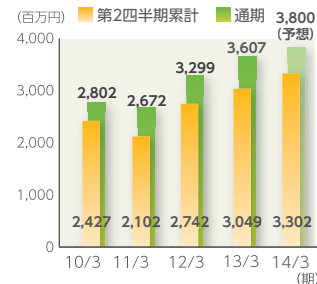
営業利益



経常利益

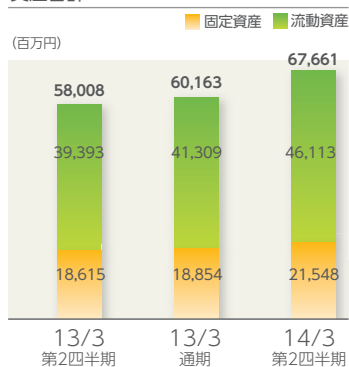


四半期(当期)純利益

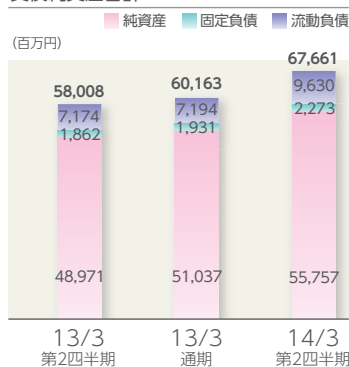


財政状態

資産合計



負債純資産合計



Point

資産 (+74億97百万円)

主に流動資産の有価証券の増加、固定資産の工場建設等ともなう建設仮勘定の増加が要因です。

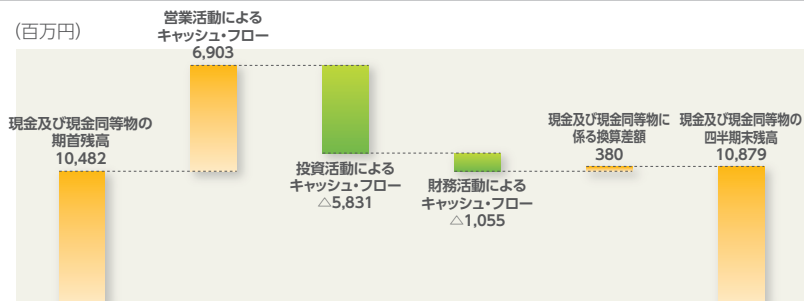
負債 (+27億77百万円)

主に流動負債の設備投資にともなう未払金の増加が要因です。

純資産 (+47億20百万円)

主に利益剰余金の増加、円安の影響にともなう為替換算調整勘定の増加が要因です。

キャッシュ・フローの状況



Point

営業活動によるキャッシュ・フロー (+69億3百万円)

主に営業利益の増加や売上債権の減少による資金収入が要因です。

投資活動によるキャッシュ・フロー (△58億31百万円)

主に有形固定資産の取得による支払いが増加したことによる資金支出が要因です。

財務活動によるキャッシュ・フロー (△10億55百万円)

主に配当金の支払いによる資金支出が要因です。

14/3
第2四半期

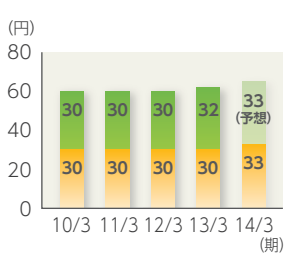
株主還元の基本方針

配当に関して

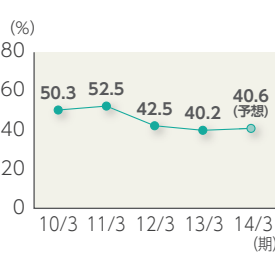
連結ベースでの配当性向40%以上の継続

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策として位置づけ、内部留保に配慮しつつ、配当金による株主還元を優先的に実施することを基本方針にしております。連結ベースでの「配当性向40%以上」の継続的な実現を目標としております。なお、当該期の年間配当は1株あたり66円(連結での配当性向40.6%)を予定しております。

配当金



配当性向の推移



株主優待に関して

5,000円相当の当社商品詰め合わせをお届け

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の一環として、株主優待を行っております。100株以上の株式を所有(3月31日現在)の皆さまに5,000円相当の当社商品詰め合わせを、6月初旬にお届けしています。優待商品は、お使いいただき、マダムをより身近に感じていただけるように、当社のお奨めする商品を新製品を中心に選定しております。



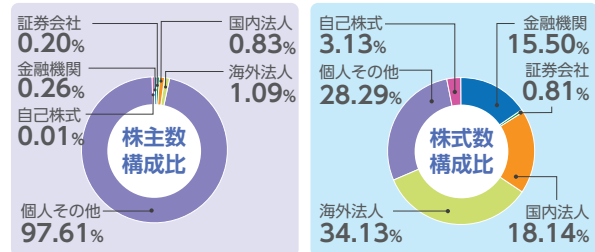
2013年実施
株主優待詰め合わせ

株式の状況

株式の状況

[2013年9月30日現在]

- 発行可能株式総数 81,969,700株
- 発行済株式総数 24,134,606株
- 株主数 15,145名
- 株式分布状況



大株主

[2013年9月30日現在]

氏名又は名称	所有株式数 (千株)	所有株式数の比率 (%)
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	2,078	8.61
公益財団法人西村奨学財団	1,800	7.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	900	3.73
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	803	3.33
株式会社マダム	755	3.13
西村 元延	720	2.98
マダム従業員持株会	698	2.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	643	2.67
BNP PARIBAS SEC SVC LONDON/JAS/ABERDEEN INVESTMENT FUNDS ICVC/AGENCY LENDING	554	2.30
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	445	1.84

※所有株式数は千株未満で切り捨てています。

会社概要

会社概要

[2013年9月30日現在]

■ 社名	株式会社マンダム	■ 従業員	530名(連結2,257名)
■ 本社	大阪市中央区十二軒町5番12号	■ 事業内容	化粧品、香水の製造および販売、医薬部外品の製造および販売
■ 設立	1927年12月23日		
■ 資本金	11,394,817,459円		

役員および監査役

[2013年9月30日現在]

取締役

代表取締役社長執行役員	西村 元延
代表取締役副社長執行役員	桃田 雅好
取締役専務執行役員	寺林 隆一
取締役常務執行役員	岡田 和喜
社外取締役	塚田 彊
社外取締役	中島 賢

執行役員

常務執行役員	北村 達芳
常務執行役員	鈴木 博直
常務執行役員	小芝 信一郎
常務執行役員	有地 達也
執行役員	田中 晃
執行役員	亀田 泰明
執行役員	越川 和則
執行役員	古林 典和
執行役員	金山 博

監査役

常勤監査役	斉藤 嘉昭
常勤監査役	松尾 隆治
社外監査役	津田 昌俊
社外監査役	辻村 幸宏

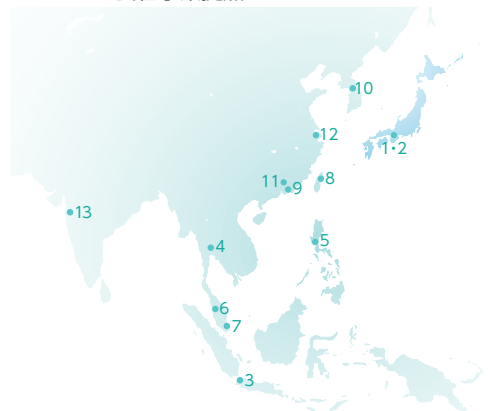
グループ会社

[2013年9月30日現在]

国	会社名	地域	数
国内	株式会社ピアセラボ		1
	株式会社エムビーエス		※1 2
海外	PT Mandom Indonesia Tbk	インドネシア	3
	Mandom Corporation (Thailand) Ltd.	タイ	4
	Mandom Philippines Corporation	フィリピン	5
	Mandom (Malaysia) Sdn. Bhd.	マレーシア	6
	Mandom Corporation (Singapore) Pte. Ltd.	シンガポール	7
	Mandom Taiwan Corporation	台湾	8
	Sunwa Marketing Co., Ltd.	中国(香港)	※2 9
	Mandom Korea Corporation	韓国	10
	Zhongshan City Rida Cosmetics Co.,Ltd	中国(中山)	11
	Mandom China Corporation	中国(上海)	12
Mandom Corporation (India) Pvt. Ltd.	インド	13	

※1 非連結子会社 ※2 持分法適用関連会社

グループ会社事業拠点



株主メモ

お知らせ

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日

定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日

〔そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日〕

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 ☎ 0120-782-031
- ホームページアドレス <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<<http://www.mandom.co.jp/>>
ただし、事故その他のやむを得ない事由の場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 株主優待 毎年3月31日現在の100株以上所有の株主さまに対し、5,000円相当の当社商品を6月初旬に贈呈します。
- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

【特別口座について】

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記の株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社の電話照会先にお問い合わせください。

「マンドムIRメール配信サービス」
についてのお知らせ

「マンドムIRメール配信サービス」では、マンドムの開示情報を中心としたIR情報をメールにてタイムリーにお知らせしています。このサービスは、当社ウェブサイトからの会員登録によりご利用いただけます。

会員登録はこちらから

マンドム IR情報 検索



マンドム
IRメール配信サービス
で登録はこちら

クリック!

当社のより詳しい情報・最新の情報は
ホームページでご覧いただけます。



<http://www.mandom.co.jp/>



株式会社マンダム 広報IR室

〒540-8530 大阪市中央区十二軒町5番12号

TEL : 06-6767-5020 FAX : 06-6767-5043

株式会社マンダムはISO14001(福岡工場)を認証取得しております。



UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。